

令和8年度の主要事業概要

※担当課名の右側に、予算説明書の該当ページを表示しています。

1) 快適で住みやすい都市の実現

【継続】取手駅西口A街区再開発支援事業 123,400千円 [中心市街地整備課] P.145

取手駅西口A街区地区において進められている再開発事業により、駅周辺が賑わいと活力に満ちた魅力あるまちとなるよう、再開発準備組合に対して補助金による支援や助言等を行います。令和8年度は、再開発準備組合が行う建築設計・資金計画の作成に対して、補助金を交付します。

【継続】取手駅西口A街区公共施設整備事業 37,000千円 [中心市街地整備課] P.145

取手駅西口の市街地再開発事業によって整備される再開発ビル内の一部の床を取得し、図書館を核とした複合公共施設を整備することで、魅力ある中心市街地の形成や駅前の賑わい創出、市民の利便性向上を図ります。令和8年度は、複合公共施設の内部空間のプランニングを行うため、専門業者に内装基本設計の業務委託を行います。

【継続】桑原地区整備推進事業 25,186千円 [都市整備課] P.100

大規模な商業・業務施設を核とした新市街地の創出に向けて、準備組合・業務代行予定者と協働して、土地区画整理事業の事業化に向けた国や県等との関係機関協議を進めるとともに、桑原地区土地区画整理準備組合に対する事業化支援を行います。

【新規】取手駅西口交通環境改善整備事業 9,977千円 [都市整備課] P.146

取手駅西口周辺地区の都市交通機能を改善することにより、中心市街地の魅力度の向上と活力創出を図ります。令和8年度は、国道6号交差点までの都市計画道路3・3・1号線の交差点協議と、幹線道路で支障となる埋設物移設計画を策定します。

【新規】取手緑地運動公園改修事業 31,669千円 [水とみどりの課] P.107

取手緑地運動公園は各種イベントの利用も多い公園であり、施設の配置替えを行い、取手駅に一番近い場所を多目的広場にするすることで、イベント利用の幅が広がるとともに、より多くの方の利用につなげます。令和8年度は、配置換えをするための測量等の現地調査を行います。

【継続】橋りょう・歩道橋長寿命化事業 58,000千円 [管理課] P.95

【継続】道路長寿命化事業 84,648千円 [管理課] P.95

【継続】ふれあい道路改修事業 275,000千円 [道路建設課] P.96

【継続】小文間道路改良事業 11,000千円 [道路建設課] P.97

【継続】井野団地外周道路改良事業 160,743千円 [道路建設課] P.97

【新規】 稲道路改良事業 7,249 千円 [道路建設課] P. 97

【継続】 都市計画道路 3・5・23 号北敷・沼附線整備事業 130,000 千円

[道路建設課] P. 104

【継続】 都市公園長寿命化対策事業 20,538 千円 [水とみどりの課] P. 107

市民が安心して利用できるよう、市内の道路、橋りょう、都市公園の改良工事等を実施し、住環境の向上やまちの活性化を図ります。

【継続】 都市計画道路再検討調査事業 9,548 千円 [都市計画課] P. 100

市が目指す将来の都市構造に即し、効率的な整備が可能で機能性の高い幹線道路網を検討するため、国や県のガイドラインに基づき都市計画道路の見直しを行います。

令和 8 年度は、令和 7 年度の調査結果を踏まえ、都市計画道路としての計画の存続・変更・廃止の方向性を検討します。

2) 魅力の創造と発信

【新規】 メディアを活用した魅力発信事業 1,601 千円 [魅力とりで発信課] P. 25

NHK 全国放送番組の公開収録により、取手市を全国に PR するとともに、シビックプライドの醸成につなげます。また、まちの魅力を紹介するテレビ番組の放映や、各種 SNS 等を活用した番組動画の配信を行い、有名タレント等による発信・影響力を活用して、取手の魅力を首都圏を中心に広く発信し、本市の認知拡大と移住促進を図ります。

【新規】 SNS を活用したシティプロモーション事業 1,302 千円

[魅力とりで発信課] P. 25

市の魅力や特色を親しみやすく発信するため、地元アーティストと連携のもと、市オリジナル LINE スタンプを制作・販売し、市民や来訪者による日常的な情報拡散を促進します。また、市の魅力をテーマとしたショート動画を広く募集するコンテストを開催し、多様な視点から市の魅力を再発見するとともに、応募作品を SNS 等で発信することで、市内外への効果的な PR を図ります。

【新規】 こども・若者まんなか応援サイト開設事業 1,344 千円 [こども政策課] P. 56

こどもや若者、子育て世代等が結婚や妊娠、出産、育児といった自らのライフステージに応じた情報に容易にアクセスができるよう、「こどもまんなか」に特化した専用サイトを構築し、各世代から親しまれるサイトを目指します。

【継続】 結婚新生活支援事業 15,044 千円 [こども政策課] P. 60

非婚、晩婚化や少子化が進む中、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、新婚世帯を対象として結婚に伴う新生活にかかる経済的な支援を行います。令和 8 年度

も引き続き対象要件となる世帯の所得を 500 万円未満から 600 万円未満へ引き上げ、対象世帯の拡充を図ります。

【継続】 創業支援等事業 4,975 千円 [産業振興課] P. 90

取手市商工会と連携し各種創業支援事業を展開していくことで、創業者への支援を実施し、開業率の向上を目指します。あわせて個別の課題に対して相談等を実施することで事業の継続に繋げ、創業を通じた地域産業の活性化を図ります。

【継続】 とりで利根川大花火補助事業 43,516 千円 [産業振興課] P. 93

毎年 8 月に開催している「とりで利根川大花火」開催のため、花火大会を運営している市観光協会へ補助金を交付します。昨年度に引き続き、打ち上げ発数を約 1 万発とし、観光事業の振興及び誘客の促進、取手市の魅力の更なる向上を図ります。

【継続】 定住化促進住宅補助事業 32,037 千円 [都市計画課] P. 112

良質な新築住宅の取得や、中古住宅の取得又は世帯員の増加に伴うリノベーションに対する補助を行います。令和 8 年度からは、子育て世帯への加算について制度の拡充を行うことで、子育て世代や市内就業者等の更なる定住化促進を図ります。

【継続】 学校連携事業（対話型鑑賞ツアー） 2,843 千円 [文化芸術課] P. 132

市立小学校全 14 校を対象に、美術作品を通じて児童の創造力やコミュニケーション等を育む対話型鑑賞ツアーを実施することで、児童の成長につなげます。

3) 未来をつくる世代を育むまちづくり

【新規】 見守りおむつ定期便事業 6,950 千円 [こども政策課] P. 58

様々なストレスにより精神的な負担や孤独感を感じやすい乳児期の子育てに対し、赤ちゃんの健やかな成長と養育者の健全な子育て環境を確保するため、見守り訪問を毎月実施することで、相談できる環境を確保します。併せて、おむつやミルク等の子育てグッズを無償で配布することで経済的負担の軽減を図ります。

【新規】 ICT を活用した産婦人科・小児科オンライン相談・

母子健康手帳アプリ機能拡充事業 3,325 千円 [保健センター] P. 74

小児医療体制の補完及び子育て世代の不安解消や負担軽減を目的に、ICT を用いて小児科医、産婦人科医、助産師へのオンライン相談が出来る体制を構築します。

「産婦人科・小児科オンライン相談」では、平日 18 時から 22 時までの間で産婦人科、小児科医、助産師による LINE を活用した「ビデオ通話夜間相談」や 24 時間 365 日チャット形式で相談可能な「いつでも相談」を実施します。

また、産後ケア事業における利用申請手続きについて、母子健康手帳アプリ

(Torico)の機能を拡充し、オンライン申請を可能とします。

【新規】「AI×リアル」で話せる・生かせる英語プロジェクト 65,468 千円

[指導課] P. 117・119

「デジタルの強み」と「人の温もり」を融合させた英語の会話力向上を目指した教育環境を構築することで、話せる・生かせる英語を習得し、グローバルに活躍する人材を育成します。

生成 AI 英語学習アプリ導入事業では、生成 AI との 1 対 1 のスピーキングトレーニング環境を整備することにより、自ら主体的に英語を学ぶ学習環境を実現し、学校と家庭での反復練習を可能とすることで、話せる英語の習得を図ります。

ALT 増員事業では、JET プログラムを活用して ALT を 5 名増員し、市内全 20 校へ各 1 名ずつの常駐体制を確立することにより、ネイティブ学校教員や ALT が常に学校において英語で会話ができる教育環境を構築します。これにより児童生徒が ALT とリアルな会話を活発に行い、英語での会話を日常的にすることで、生かせる英語の会話力向上を目指します。

未来の英語エキスパート育成プロジェクト事業では、高校生レベルの英語力が求められる英語検定の準 2 級、準 2 級プラス、2 級の取得という英語エキスパートを目指す中学生を支援することで、教育の質の底上げ、生徒の人生の可能性を広げ、将来グローバルな舞台で活躍する人材を育成します。

【継続】取手東小学校体育館長寿命化改良・校舎改修事業 600,700 千円

[教育総務課] P. 123

建設から 40 年以上が経過し、老朽化が著しい取手東小学校の体育館長寿命化改良工事を行うとともに、校舎の照明 LED 化などの改修を併せて実施することで、老朽化対策と利便性の確保を図り、児童をはじめとした全ての利用者にとって安心・安全で、快適に学校活動に取り組むことができる教育環境を整備します。

【新規】藤代南中学校防球ネット改修事業 39,000 千円 [教育総務課] P. 127

老朽化が著しい藤代南中学校の防球ネットを改修することにより、老朽化による倒壊の危険を未然に防止するとともに、打球が敷地外に出ることを防ぎ、生徒をはじめとした全ての利用者が安心・安全に学校活動に取り組める教育環境を整備します。

【継続】こども版広報とりで発行事業 901 千円 [魅力とりで発信課] P. 20

こどもたちに市の取組やまちの魅力を直接届けるため、「こども版広報とりで」を制作・発行することにより、「広報とりで」を通じた情報収集の重要性や意識向上、地元への興味関心を高め、郷土愛の醸成を図ります。

【継続】 妊婦のための支援事業 71,398 千円 [こども相談課] P. 60

妊娠期から切れ目のない支援を行うため、出産・育児等の見通しを立てるための面談や必要な支援につなぐ伴走型相談支援としての「妊婦等包括相談支援事業」と「妊婦のための支援給付事業」を組み合わせ実施し、妊婦の身体的・精神的ケア及び経済的支援を一体的に行います。

【継続】 無痛分娩費用助成事業 14,423 千円 [こども政策課] P. 61

無痛分娩の需要が高まる中で、経済的な理由によらず、誰もが希望する分娩方法を選択できるよう、無痛分娩を実施した日において市内に住所を有し、引き続き定住の意思がある方に対し、10万円を限度として無痛分娩に要した経費を助成します。

【継続】 民間保育士等処遇改善事業 22,481 千円 [保育課] P. 65

民間保育園等において新規採用された保育士等に対し、補助金を交付して安定的な人材確保に繋げていきます。併せて、勤続3年目、5年目、8年目、10年目、以降5年ごとに保育士等勤続功労補助金を交付することで、市保育行政の更なる安定化を図ります。

【継続】 妊婦健康診査助成事業 57,989 千円 [保健センター] P. 74

妊婦健康診査の費用の一部を助成し、妊婦の経済的な負担軽減を図るとともに、各種の相談支援を行うことで、安心して出産を迎えられるよう支援を行います。費用の助成回数について最大16回（多胎妊娠の場合は最大19回）とし、妊婦の健康診査費用の負担軽減を図るとともに、健診結果を把握し、必要時に相談や指導を行い、健やかな妊娠と安全な出産を迎えるための支援を行います。

【新規】 妊婦歯科健康診査 1,250 千円 [保健センター] P. 75

妊娠期に起こりやすい歯周病等のトラブルは、歯を失うだけでなく、早産・低出生体重児などを含む妊娠出産合併症の発現率を高めるリスク要因となるため、妊娠届出のあった妊婦に対して歯科健康診査受診券を発行し受診の機会を提供します。

【継続】 特定不妊治療助成事業 2,427 千円 [保健センター] P. 76

不妊治療のうち、医療保険適用外の先進医療にかかる費用の一部を助成することを通じて、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ります。

【新規】 性と生命（いのち）の学びプロジェクト 1,075 千円 [指導課] P. 119

性に関する問題の低年齢化やSNS等の普及によるリスクの高まりを受け、専門性を有する講師を招いて、小学校から中学校までの一貫した包括的性教育を体系的に実施します。これにより、子どもたちが性に関する適切な知識を身につけ、自分と他者の心・体・プライバシーを尊重する態度を養い、性被害・性加害を未然に防ぐ力を身に

付けることができるようにします。

【継続】教育費負担軽減事業 2,660 千円 [学務課] P. 122

保護者の負担で購入している教材で、教育課程が終了すると使用機会が著しく少なくなる教材を市費で整備することで、保護者の経済的負担を軽減します。

【継続】コミュニティ・スクール事業 11,898 千円 [生涯学習課] P. 129

地域との組織的な連携・協力体制を充実させるため、各学校に地域学校協働活動推進員を配置するとともに、それを取りまとめる統括的な地域学校協働活動推進員を配置し、地域学校協働活動に繋げるための人的支援等を行います。

【継続】中学校部活動地域展開事業 16,705 千円 [スポーツ振興課] P. 137

休日における学校部活動の担い手として、「取手市地域クラブ活動推進協会」を新たに設立し、市が補助金を交付することで地域クラブの運営を支援します。部活動の地域展開を推進することで、学校の教職員の働き方改革や子どもたちの多様な体験機会の確保を図ります。

4) 健康でいきいきとした社会の実現

【継続】井野公民館改修事業 244,940 千円 [生涯学習課] P. 134

井野公民館の内部改修・設備改修工事を行うとともに、小型エレベーターを新たに設置し、バリアフリー化することで、生涯学習活動の場として誰もが利用できる環境を整備します。

【継続】ふれあいの郷外壁・屋根改修事業 99,000 千円 [高齢福祉課] P. 53

利用者の住環境を整備するため、雨漏りの原因となっている外壁および屋根の改修工事を行います。

【継続】グリーンスポーツセンター改修事業 70,900 千円 [スポーツ振興課] P. 138

利用者が安全で安心して快適に利用できるように、経年劣化が進む設備の改修等を行います。令和8年度は、熱中症対策として室内プール用観覧席に空調設備を設置するほか、プール用ろ過装置の改修を行います。

【新規】RS ウイルスワクチン接種助成事業 14,997 千円 [保健センター] P. 71

国はRS ウイルス感染症を予防接種法のA類疾病に位置づけ、令和8年4月1日から法に基づく定期予防接種の対象としたことから、市はA類定期予防接種として全額公費助成を実施し、接種の普及促進を図ります。

【継続】 高齢者のインフルエンザワクチン接種助成事業 51,283 千円

[保健センター] P. 71

国は、より高い有効性と費用対効果が認められる高用量インフルエンザワクチンの使用が承認されたことから、現行の標準量ワクチンに加え、令和8年10月1日から75歳以上を対象に定期予防接種に用いるワクチンに加えることとしました。市は高用量ワクチンの接種費用を助成し、接種の普及促進を図ります。

【継続】 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種助成事業 1,001 千円 [保健センター] P. 71

国は有効性及び費用対効果の知見を踏まえて、令和8年4月1日より肺炎球菌定期予防接種に用いるワクチンを23価から20価へ変更することとしました。20価ワクチンは現行で使用している23価ワクチンより接種料金が上がるため、市は定期予防接種対象者に対し助成額を増額し、接種の普及促進を図ります。

【新規】 がん患者ウィッグ等購入費助成金 800 千円 [保健センター] P. 77

がん患者が治療中に悩むことの多い心理的、経済的な負担について、生活の質の向上及び社会参加の推進を図るため、医療用ウィッグや乳房補装具の購入費用、またはレンタル費用の一部を助成します。

5) 大切な日常が守られる環境整備

【新規】 災害対応力強化事業 29,923 千円 [安全安心対策課] P. 30

防災気象情報の変更や内水浸水想定区域図の掲載に加え、ユニバーサルデザインや多文化共生社会に配慮した、全ての人が利用しやすい防災マップを提供することで、災害リスクや日頃の備えの周知を図ります。また、避難所での良好な生活空間とプライバシーの確保を図ることで、避難者のストレスを緩和し、避難生活における健康被害を未然に防ぎ、災害に強いまちづくりを推進します。

【新規】 サイクルステーションとりで照明器具 LED 化事業 5,500 千円

[安全安心対策課] P. 28

【新規】 障害者福祉施設 LED 照明改修事業 32,800 千円 [障害福祉課] P. 42

【新規】 高齢者福祉施設 LED 照明改修事業 36,600 千円 [高齢福祉課] P. 54

【新規】 自転車駐車場照明器具 LED 化事業 債務負担行為の設定のみ

[安全安心対策課]

【新規】 街路灯 LED 化事業 債務負担行為の設定のみ [管理課]

【新規】 公園灯 LED 化事業 債務負担行為の設定のみ [水とみどりの課]

【新規】 藤代スポーツセンターLED 化事業 3,679 千円 [スポーツ振興課] P. 139

公共施設の照明器具約4,000基について、サウンディング型市場調査により民間事業者の知見を活用し、事業効果やスケールメリットを考慮した、各施設ごとの最適な

手法（従来型・ESCO・リース）によりLED化を行います。

【継続】排水機場・双葉ポンプ場改修事業 106,470千円 [排水対策課] P.105

河川増水時に内水排除を行うための排水機場の老朽化に対応するため、改修工事を行います。

【新規】上高井通学路整備事業 15,000千円 [道路建設課] P.99

【継続】桑原通学路整備事業 22,000千円 [道路建設課] P.99

【継続】野々井通学路整備事業 85,010千円 [道路建設課] P.99

小中学生の通学路において歩道整備等を行い、安全な通学環境の確保を図ります。

【継続】地球温暖化対策推進事業 3,507千円 [環境対策課] P.79

講演会の開催により地球温暖化に関する市民の理解を深めるとともに、蓄電池設備、太陽光発電設備の導入に対し補助金を交付することで、市域の温室効果ガス削減を図ります。

【継続】環境教育プログラム事業 1,012千円 [環境対策課] P.79

地球温暖化による気候変動への対応を切り口に、児童・生徒が主体的に学び、考え、発表する授業を企業や大学と連携・協力して行うことで、持続可能な未来をつくるための知恵や価値観を育む探究型環境教育を推進します。

【継続】森林整備活動と環境教育事業 3,002千円 [環境対策課] P.79

次世代を担う子どもたちへ、自然環境での活動体験及び新たな学びのフィールドを提供することとともに、植林体験を通じて森林整備や林業の重要性に対する理解と関心の向上を図ります。

【新規】生ごみ処理容器キエーロ普及推進事業 1,093千円 [環境対策課] P.82

一般家庭から排出される生ごみの削減を目指し、生ごみ処理容器「キエーロ」の普及を促進するために、特徴や使い方の講習を実施します。希望する市民に無償でキエーロを貸与し、実際に使用する機会を提供します。

【継続】藤代地区雨水排水整備事業 77,645千円 [排水対策課] P.106

排水路の整備・改修等を行い、雨水による浸水被害の緩和や居住環境の向上を図ります。

【新規】消防団車両の更新 23,492千円 [消防本部] P.114

市民の安全を確保するため、消防団に配備されている車両の更新を行います。令和8年度は、第9分団（小堀）の車両を更新します。

【新規】 消防資機材搬送車及び指令車の更新 49,130 千円 [消防本部] P.115

複雑多様化する災害や地震等による広域災害への迅速・的確な対応をするため、指令車及び資機材搬送車を、汎用性が高く機動性に優れた仕様に更新し、消防力の充実強化を図ります。

6) 将来にわたり発展する地域社会の構築

【新規】 取手庁舎整備基本構想策定事業 12,000 千円 [管財課] P.25

取手庁舎を取り巻く社会情勢や行政ニーズの変化を踏まえ、10年後、20年後を見据え、老朽化への対応にとどまらず、市民サービスの向上を主軸として、防災拠点としての機能強化を含めた調査の検討を行い、今後の取手庁舎の整備の基本的な考え方と方針を整理するため、「取手庁舎整備基本構想」を策定します。

【新規】 プログラミング・生成 AI 学習推進事業 3,412 千円 [指導課] P.119

AI アプリを活用できるコミュニケーションロボット「ロボホン」を導入し、プログラミングと生成 AI を組み合わせた新たな教育を進めます。ロボットとのやり取りを通じた学びにより、思考力や発想力を伸ばし、AI 社会を生きるための基礎的な力を育成します。

【新規】 放課後子どもクラブ業務のデジタル化事業 3,909 千円

[子ども青少年課] P.133

取手市放課後子どもクラブの入所申請や入退室管理をオンライン化し、保護者の利便性向上と事務の効率化を図ります。

【継続】 AI 技術活用による業務支援事業 3,432 千円 [情報管理課] P.26

AI 音声認識システムや、生成 AI 機能などの AI 技術システムを活用することで、市民福祉の向上と行政事務の効率化を図ります。

【継続】 RPA・AI-OCR による業務効率化 5,019 千円 [情報管理課] P.26

RPA（定型事業プロセスの自動化技術）と AI-OCR（手書き帳票読み取りシステム）を組み合わせたシステムの活用により、申請書の受付業務や請求書の入力業務等の大量で定型的な業務を自動化し、業務の効率化と市民サービスの向上を図ります。

7) その他の事業

【継続】 ふるさと取手応援寄附金推進事業 4,491,708 千円 [財政課] P.23

民間ポータルサイトを活用したふるさと取手応援寄附金の受付と、寄附者への返礼品送付業務を行います。令和7年度に引き続き、複数のポータルサイトを積極的に活

用し、広くふるさと取手応援寄附金を周知していきます。

【新規】 水稲病虫害防除補助金 10,000 千円 [農政課] P. 85

水稲の品質低下や収量の減少要因となっているカメムシ等の病虫害の防除を徹底するため、薬剤散布に伴う一部費用の支援を行い、農作物の安定した生産に繋げていきます。

【継続】 福岡堰地区地盤沈下対策事業 2,025 千円 [農政課] P. 85

福岡堰土地改良区管内の用水路が不等沈下による逆勾配、中だるみ等の障害が生じていることから、農業用水の供給不足や排水不良が起こっているため、改修を実施し、農業用水の確保と農業経営の安定化を図ります。

【継続】 山王西部地区用排水路整備事業 10,000 千円 [農政課] P. 85

山王西部地区用排水路は、素掘り水路であることから、農家者等の高齢化に伴い水路機能の維持管理が困難なため、整備工事を実施し、生産者の労力軽減、営農意欲の向上を図ります。

【新規】 働く婦人の家受変電設備改修事業 38,400 千円 [産業振興課] P. 92

老朽化した受変電設備を改修することで、安全で快適な施設運営を行い、利用者の利用環境の充実を図ります。

【新規】 埋蔵文化財センターエレベーター改修工事 36,000 千円 [生涯学習課] P. 136

埋蔵文化財センターの老朽化したエレベーターを改修することで、安全で快適な利用環境の形成を図ります。